

ChatGPTの言語能力について

白石和也 23B11543
東京工業大学工学院

1. はじめに

まずChatGPTとは会話型の生成AIの一つである。最近では私たちの生活にも馴染み始めてきたChatGPTの応答能力及び言語能力を評価することを目的とする。

2. 方法

まず今回用いたのはChatGPT-4である。具体的な調査方法について。ChatGPTと会話を行い、その様子を適切性(各質問に対して適切な返答か)、文脈の一貫性(会話の流れを理解し、関連する応答か)、自然さ(自然で人間らしい対話スタイルか)の三つの基準で評価する。会話の内容は日常的な単純な話題で行う。

3. 結果

図1は会話の一部である。会話内容を評価した。

この会話ではこちらの質問に対して適切に返答を行っていて、脈絡もあるのがわかる。特にこちらの返答に対して答えるだけでなく会話を膨らませようとしている様子は人間と会話に近いと言える。

したがって日常会話については適切性・文脈の一貫性・自然さの全てを高く評価することが出来る。

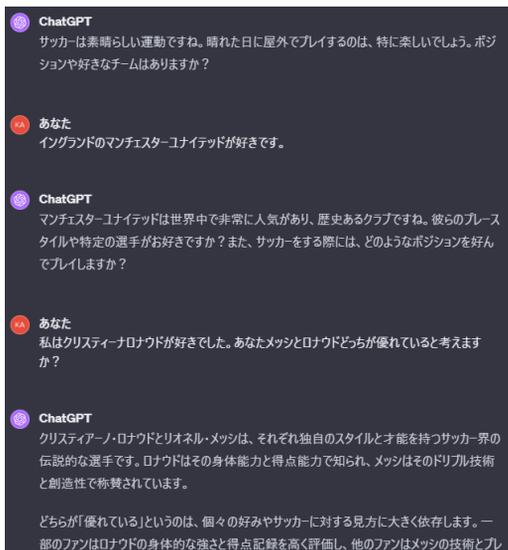


図1: 会話の一部

4. 考察

結果からわかることとして日常会話については人間と遜色なく行うだけの能力を持っていると言える。また基本的に会話は敬語で行われていた。そして人間と異なる点として図1からわかるように個人的な意見は持たず、中立な立場で会話を行っていた。そういった部分では人間っぽくはないと言えるが、会話の能力としては人間と同等であることは間違いないだろう。

また会話だけではなく、エッセイの作成について考えてみる。人間とChatGPTの議論的なエッセイの質について比較した研究によれば、人間よりも品質の高いエッセイを書くことが出来ることがわかった。この研究ではChatGPTと人間にエッセイを書いてもらい、その品質について様々な指標から比較したものである。

このようにChatGPTは日常会話のような単純な言葉から、エッセイなどの固い言葉まで幅広く人間と同等かそれ以上に使いこなしているとわかる。

最後にこれらの考察を踏まえ私たちは利用方法について考えていく必要があると言える。言語を上手に使いこなせるため、会話相手として活用することもできるが、その反面頼り過ぎると本来得られたはずの言語能力が養われなくなってしまう危険性もあるため、ある程度の規制を設けていく必要があるのではないかと考える。

5. おわりに

ここではChatGPTの言語能力について研究した。そして調査方法としてはChatGPTと会話を行い、その内容を三つの順から評価した。

最後にChatGPTは人間以上に言葉を使いこなすことができるとわかった。そしてこれが私たちの生活がより豊かなものになるような利用がされること期待したい。

文献: Steffen Herbold, Annette Hautli-Janisz, Ute Heuer, Zlata Kikteva & Alexander Trautsch. A large-scale comparison of human-written versus ChatGPT-generated essays (30 October 2023)